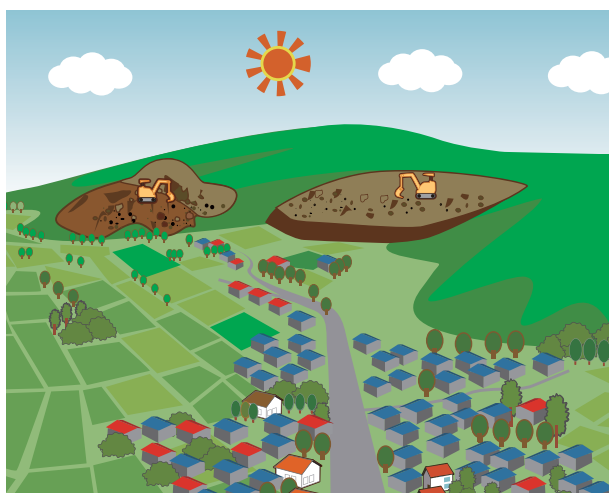


4 なぜ盛土造成地はつくられたのか

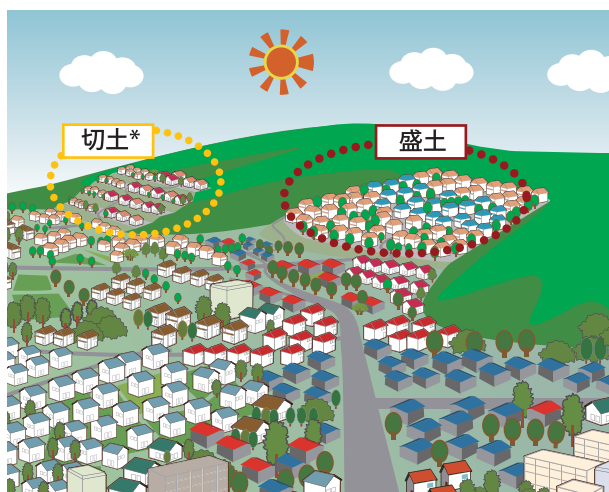
日本の国土は、平地の面積が約3割と少なく、大半が山地に囲まれています。高度経済成長期などでの都市部の人口増加に伴い、宅地として利用できる平らな土地が不足してきました。その結果、住まいの場所は郊外の丘陵地や台地、山麓へと拡がりました。



人口の増加に伴い、住まいの場所は郊外の丘陵地や台地、山麓などへと拡がっていきました。



丘陵地を宅地として利用する場合、山を削り、削った土を盛って平らな土地をつくる工事が必要になりました。



このように造成された宅地のなかには、8ページ以降で説明する大規模盛土造成地もあります。